

運が良いとおもえること

今回はある女性からお聞きした話を掲載いたします。その方はご家族と離ればなれになり、12歳で働きに出ることになったそうです。実家から出たばかりで頼る人もおらず、隣県にある大きな紡績工場に行けば働かせてもらえるという希望だけをもって汽車に乗り込んだそうです。しかし工場についてみると、規則で身寄りのない子供は雇えないことになっていたそうです。そこでその方は「働かせてもらえなければ死にます」と抗議し、実際帯の中に隠し持っていた小刀に手を掛けたそうですが、見かねた警察官が身元引受人になってくれたそうです。

さらに不憫に思った工場の上役が、自宅の一部屋に住まわせてくれたそうです。こうして住む場所と仕事を手にしたこの方は、その恩義に報いるため工場の仕事の合間に上役の家の雑用をこなし、また工場に戻るといったような生活をつづけました。その結果、数年後には工場一番の古株になり、かつてのご自分の様な子供たちの面倒を見てあげたとの事でした。そんなご苦労をされているにもかかわらず、その方は「ご飯を食べるためには働かなきゃいけないでしょ。私は運が良かったの。ここでも何でもやるからお仕事沢山持って来て一」朗らかに話すのでした。右は節分行事にて獅子舞が登場した時の様子です。



<特養2月の予定>

1日(水)	苦情相談窓口 歯科往診(以後は毎週水曜日) 赤飯・天ぷらメニュー
3日(金)	節分 節分メニュー
7日(火)	桜井医師往診(以後は毎週火曜日) 愛知県の郷土料理メニュー「味噌煮込みうどん」
8日(水)	選べるおやつ (青りんごゼリー・ミルクケーキ) レクリエーション
9日(木)	2階眼科往診
14日(火)	バレンタインメニュー
16日(木)	3階眼科往診
17日(金)	手品・漫談
20日～25日	行事湯(大根湯)
27日(月)	床屋

<<連絡事項>>

- 施設内での感染症予防のため、来所時はマスク着用、手の消毒のご協力をお願いいたします。